

2023年8月

ソーシャルワーク・スーパーバイザーのみなさま

立命館大学産業社会学部教授
研究代表者 岡田まり

研究協力のお願い

いつも私たちの研究活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

この度、スーパーバイザー養成プログラム開発のために、下記のとおり研修プログラムを試行し評価を行うことになりました。つきましては、試行研修に参加し、研修プログラムの内容や方法等についてコメントいただける方を募集いたします。ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 研究の目的

専門職としての成長と良質のサービス提供のためにスーパービジョンは重要ですが、いまだに福祉現場のなかにはスーパーバイザー不在のためにスーパービジョンが受けられないというところが少なくありません。また、スーパーバイザーをサポートする仕組みもありません。そのため、私たちの研究グループでは、福祉現場でのスーパービジョンの普及をめざし、多くの方々のご協力をいただきながら「社会福祉士のスーパーバイザー養成プログラムの開発と評価」(2015年度～2018年度科学研究費補助金事業基盤研究(B))を行い、分野・領域を超えて社会福祉士のスーパーバイザーに求められるミニマムな専門性を獲得するためのプログラムを開発してきました。このプログラムを踏まえて、社会福祉士に限らず広く福祉専門職のなかで、より専門性の高いスーパーバイザーを養成するために、2019年度より「コンピテンシーに基づくスーパーバイザー養成プログラムのモデル構築」(2019年度～2023年度科学研究費補助金事業基盤研究(B))に取り組んでおります。

コンピテンシーとは、職務や特定の状況において効果的あるいは優れたパフォーマンスにつながる個人の特性のことです。職務におけるコンピテンシーが明らかになれば、それを身につけることで職務遂行の質を上げることができるので、医療、看護など様々な領域で人材育成のためにコンピテンシーモデルの調査・開発が行われています。

本研究では、福祉専門職のスーパーバイザーのコンピテンシーとはどのようなものを明らかにし、そのコンピテンシーを身につけるためのプログラムを考案して試行・評価することで、スーパーバイザー養成プログラムのモデルを構築することをめざしています。

2. 研究に協力いただきたい方

認定社会福祉士認証・認定機構にスーパーバイザーとして登録されている方、あるいはそれと同等の経験等をお持ちの方(福祉系職能団体にスーパーバイザーとして登録されている方、スー

パービジョン研修の講師経験者、福祉職に対するスーパービジョン経験が豊富な方など）に研究協力をお願いしております。

3. ご協力いただきたいこと

以下のスーパーバイザー養成研修に参加して、研修の運営、内容、方法等について忌憚のないご意見を頂戴したいと存じます。効果的なプログラム開発にあたっては、研修参加者視点からのご助言が不可欠です。またプログラム普及のためには、研修の企画運営および講師の視点からのご意見も貴重です。いずれの視点からでも結構ですので、研修に参加されてお気づきの点についてご教示ください。

研修は、福岡、東京、オンラインでそれぞれ2回実施します。①は初級、②は中級です。どちらか1回だけの参加でも可能ですが、できるだけ①②両方に参加できる方にご協力をお願いいたします（①と②の会場が別でも構いません）。各会場の定員は20名です。応募者多数の場合は、2回参加できる方を優先し、それでも定員を超える場合は抽選とさせていただきます。参加決定のお知らせは、各会場の参加申込締切後になりますことをご了承ください。

(1) 日時と場所

- 福岡 日時 ①2023年8月20日(日)10時～16時 【参加申込締切 8月15日】
②2023年9月24日(日)10時～16時 【参加申込締切 8月15日】
場所 久留米大学福岡サテライト（エルガーラ）
福岡県福岡市中央区天神1丁目4-2 東館エルガーラ 6階
- 東京 日時 ①2023年9月9日(土)10時～16時 【参加申込期限 9月4日】
②2023年11月4日(土)10時～16時 【参加申込期限 9月4日】
場所 立命館東京キャンパス 教室2
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー 8階
- オンライン 日時 ①2023年10月21日(土)10時～16時 【参加申込期限 10月16日】
②2023年11月11日(土)10時～16時 【参加申込期限 10月16日】

(2) 当日の内容

- ①インフォームドコンセント
本研究についてご説明し、ご質問にお答えしたうえで、ご協力いただける方には研究協力同意書にご署名いただきます。
- ②研修実施
研修内容は、主として事例についてのグループ・ディスカッション、グループ発表、全体共有です。
- ③フォーカス・グループ・インタビュー
研修の運営（募集、応募時の対応、当日の対応、プログラムの時間配分、進行の

仕方など)、研修の内容や方法等について、グループに分かれてお聴きします。

(3) データ収集

本研修を実施した証憑を残し、研修の運営や進行等について検討するために、会場内で写真撮影するとともに、固定のビデオカメラで会場を録画します。また、研修の内容や方法、有用性を検証するために、各グループの机の上にICレコーダーを置いて会話を録音させていただきます。これらの録画・音声データについては、研修終了後に確認したあと、研究上必要と思われる部分だけ文章化してから消去しますので、外部に出ることはありません。演習中にご記入いただくワークシート（無記名で参加番号のみ記入）は分析のために回収いたします。ご希望であればご自身のワークシートのみ写真撮影していただいても結構です。

(4) その他

- ①本研究についてお気づきのことがございましたら、後日でも電話、メール等でご連絡くださいますようお願いいたします。
- ②フォローアップやデータの確認のために連絡を差し上げることがございますので、その際はよろしくようお願いいたします。

4. 研究協力の同意と撤回

研究にご協力いただくかどうかは自由です。同意していただけない場合でも、何ら不利益を受けることはありません。また、同意していただいた場合でも、理由を問わず、いつでも同意を撤回し、参加を中断することができます。そのことにより何ら不利益を受けることはありません。

同意を撤回して参加を中断される場合は、口頭でも文書でも結構ですので、お申し出ください。その際、既に収集したデータについて、お申し出があれば破棄いたしますが、会場の様子を撮影した写真、動画、グループの音声データについては同意を撤回された方のデータのみ除外することができませんので、その点はご了承ください。

5. 研究に協力することにより期待される利益

研究に協力することにより、気づきや学び、他の参加者との交流が得られるかもしれません。フォーカス・グループ・インタビューまでご参加いただいた方には謝礼として Amazon ギフトカード（2000円）をお渡しします（現地会場までの交通費は自己負担とさせていただきます）。

6. 研究に協力することにより予測されるリスク、危険、心身に対する不快な状態や影響

研修への参加によって心身の疲労を感じる可能性があります。また、参加するなかで得られた気づきや他者の言動により不快な思いをされる可能性もあります。しかし、これらは通常、危険なレベルにはなりません。

7. 研究成果の公表の可能性

研究の成果は、学会発表や論文投稿により発表します。その際には、協力いただいた方が特定

できないようにしたうえで公表いたします。

8. 個人情報の取扱い

取得した個人情報は、研究目的以外には使用しません。個人情報は、研究代表者の責任の下で厳重に保管し、取り扱います。個人情報を保護するために、参加者のお名前は研究データから取り除き、符号に置き換えて管理いたします。データ分析のため、またデータの開示や廃棄のご希望にお応えするために符号とお名前の対応表を作成いたしますが、対応表は鍵のかかる棚にて厳重に保管します。音声データと録画データは、研究上必要なところを文書化した後で消去します。対応表と同意書を含む文書データについては研究終了後5年間保存の後、シュレッダーにかけて廃棄します。個人情報が含まれない電子データにつきましては、学会発表や論文発表後に事後の検証ができるように、また、状況の推移をみるために将来、同様の調査を行う可能性がありますので、保管いたします。

なお、対応表を廃棄した後は、データ開示や廃棄のご希望にはお応えできないこと、また、一度論文等にて発表されましたら、記載内容の修正はいたしかねることをご了承ください。

9. 研究に関する資金源

この研究は、平成31年度～令和5年度科学研究費補助金事業基盤研究(B)課題番号19H01603「コンピテンシーに基づくスーパーバイザー養成プログラムのモデル構築」の一環として実施するもので、学術振興会より科学研究費補助金の交付を受けて実施します。

10. 研究倫理

本研究は、「日本社会福祉学会研究倫理指針」を遵守し、立命館大学における人を対象とする研究倫理審査委員会の承認(衣笠-人-2023-47)を得て実施します。職能団体や認定社会福祉士認証・認定機構等の他の組織・機関とは独立して研究を実施します。

11. 研究班

この研究は次の研究者らによる共同研究です。

研究代表者 岡田 まり(立命館大産業社会学部教授)

研究分担者 野村 豊子(日本福祉大学スーパービジョン研究センター研究フェロー)

研究分担者 片岡 靖子(久留米大学文学部教授)

研究分担者 潮谷 恵美(十文字学園女子大学人間生活学部教授)

12. 研究協力同意書

本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力くださる場合は、参加日に「研究協力同意書」(当日お渡しします)にご署名のうえご提出くださいますようお願い申し上げます。

13. お問い合わせ先

立命館大学産業社会学部 岡田まり

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

E-mail: m-okada@ss.ritsumei.ac.jp

電話：090-3275-7295

研究者の研究倫理等に関する問題が発生した場合は、立命館大学 衣笠リサーチオフィス
<email: k-rinri@st.ritsumei.ac.jp>までご連絡ください。

以上

